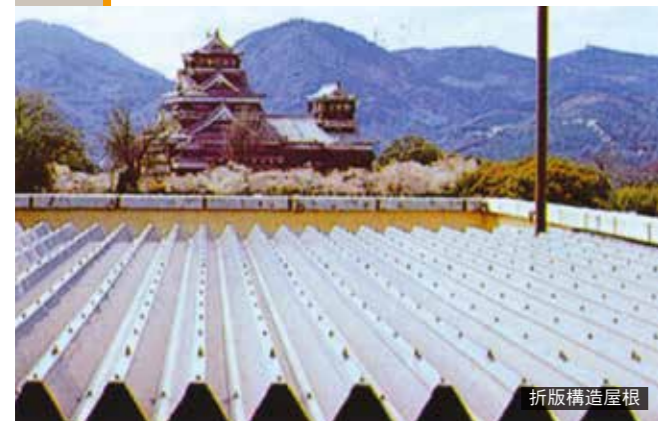


- 1949 山口県光市に三晃金属工業株式会社設立
(資本金100万円)
鋼板スレートの生産拡販
- 1950 本社・工場を光市より下松市松浦町に移転
- 1952 東京都新宿区東京工場設置
- 1953 長尺大波葺工法(注)を開発
資本金400万円に増資
- 1954 長尺立平葺巻馳工法を開発
八幡製鐵、日本鐵板両者の資本参加を得て
資本金1,500万円に増資
- 1955 A、B(注)、C(注)各号真木なし瓦棒葺工法を開発
- 1956 大波巻馳葺工法(注)を開発
角山葺工法(注)を開発
- 1958 角波葺壁工法を開発
- 1959 蟻掛葺工法を開発
本社を東京都新宿区柏木に移転
資本金3,000万円に増資
- 1961 資本金6,000万円に増資
本社を東京都千代田区神田小川町に移転
- 1962 当社株式、東京証券取引所二部市場に上場
資本金1億2,000万円に増資
- 1963 折版構造屋根工法を開発



折版構造屋根

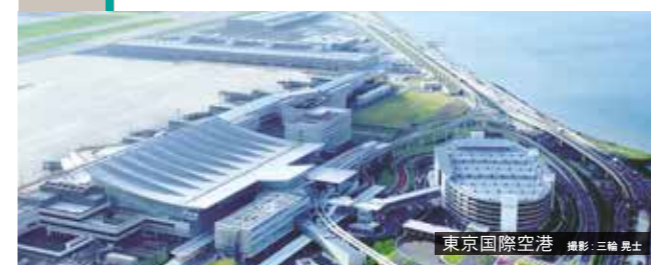
- 1964 資本金2億4,000万円に増資
本社を東京都中央区八丁堀に移転、
東京オリンピック各施設の屋根工事完成
深谷製作所第一期工事が完成
- 1966 本社を東京都中央区日本橋(栄太楼ビル)に移転
三晃建材工業株式会社を設立
- 1967 パラボラ工法(注)を開発
皇居新宮殿屋根工事完成
資本金3億6,000万円に増資
ルーフデッキ工法を開発

- 1968 本社を東京都中央区八丁堀(月星ビル)に移転
インシュレーションパック工法を開発
- 1969 三晃建材工業株式会社を合併。
資本金3億7,500万円となる
E号瓦棒工法(注)を開発
資本金7億5,000万円に増資
- 1970 ソ連館を始めとする30数件の大阪万博パビリオン
屋根工事完成
折版構造M-60、サイディングL・S工法を開発
資本金12億円に増資
円筒葺工法を開発
ボルトレス工法として丸馳折版工法を開発
- 1971 サンコープ、サンアルマー(注)を開発、
屋根塗装分野に進出
ツートンカラーサイディング工法を開発
横葺工法を開発
東京、大阪第一部株式市場に上場、
三晃建材販売株式会社を設立
本社を東京都中央区京橋(第一ぬ利彦ビル)に移転
- 1972 三晃内装工業株式会社を設立
新東京国際空港ターミナルビル屋根工事完成
海外事業本部を設立
- 1973 弯曲瓦棒葺工法を開発
株式会社三晃塗装を設立
屋根専用厚膜タイプ塗装「サンシルバー」を開発
ラジアル折版工法を開発
- 1974 プレハブ住宅向け屋根部品専用工場
「長田野製作所」新設
沖縄海洋博の各種パビリオン館屋根工事完成
資本金を18億円に増資
- 1975 自立式多目的構造屋根として
仏、ACMC社からMルーフシステムを導入
資本金19億8,000万円に増資
丸馳折版II型工法を開発
- 1976 Mルーフ(注)を本格市販開始
カバールーフ工法を開発
- 1977 サンパネルU(注)を開発
大山葺工法(注)を開発
- 1979 横葺II型工法を開発
サンルーフガード(注)を開発
三晃内装工業株式会社を解散
- 1980 ステンレスシート溶接工法導入のため、スウェーデンの
ROSTFRIA TAK社と技術契約を締結、
防水業界に進出
- 1981 R-T工法を本格市販開始
- 1984 段ルーフ、大和葺、大型円筒葺を開発
- 1985 つくば科学博各パビリオン屋根工事



つくば科学博パビリオン館

- 1986 深谷製作所折版JIS表示許可工場認可(第386083号)
- 1987 厚膜型重防食塗料「三晃ガードエース」開発
嵌合式ボルトレス折版F-80、F-200、瓦棒F-40及び
サイディングF-400を本格販売開始
米国製高分子系シート防水「ハイタフ」の総代理店
契約を締結
- 1988 愛東製作所稼働開始(現:滋賀製作所)
- 1989 ジェラードタイル(珪砂付金属瓦)(注)を
ニュージーランドCHH社から導入
日本コンベンションセンター(通称:幕張メッセ)
屋根工事完成
高耐候性塗料「三晃シリコンエース」開発
- 1990 スペースワールド屋根工事完成
総合技術センターを深谷製作所構内に新設
- 1992 新東京国際空港第2旅客ターミナルビル屋根工事完成



東京国際空港 撮影:三輪 勇士

- 1993 ららぽーとスキードーム(通称:ザウス)屋根工事完成
折版F-170、丸馳折版3型を開発
- 1994 関西国際空港旅客ターミナルビル屋根工事完成
「サンコーフラットI型」を開発
- 1995 東京国際展示場東展示棟屋根工事完成
外壁複合パネル「コアサンドシリーズ」(注)開発、
販売開始
- 1996 大阪ドーム建設工事完成
屋根材一体型太陽光発電システム屋根(注)販売開始
- 1997 マレーシア新国際空港工事完成
幕張メッセ新展示場・北ホール工事完成
品質管理システム審査登録ISO9001
- 1998 西武ドーム工事完成
太陽熱遮蔽塗料「サンルーフガードクール」(注)販売開始
北九州メディアドーム
北海道立体育センター工事完成

- 1999 本社を東京都港区芝浦(MS芝浦ビル)に移転
- 2000 ボルトレス折版「サンコーステップ68」開発、販売開始
屋上緑化屋根「サミットグリーンシステム」開発、
販売開始
札幌ドーム工事完成
- 2001 結晶系太陽電池一体型横葺屋根材
「単結晶段ルーフ26N」(注)を商品化、販売開始。
太陽電池置型スマート設置工法「サンコーソーラー
システムSフィット」開発、販売開始
埼玉スタジアム2002工事完成
超耐候性鋼板「エックスロン」を開発、同屋根商品の
販売開始
- 2002 スレート改修工法「サンコースライダー25」を開発、
販売開始
アメリカCarlisle社から「フリースバックEPDM
ルーフ」(注)の技術導入、販売開始
- 2003 結晶型太陽電池一体型屋根材「単結晶フラット」(注)、
「多結晶フラット」を商品化、販売開始
- 2004 緑化屋根「サンコーグリーンシステム」を開発、販売開始
新型アモルファス太陽電池一体型屋根材
「アモルファスフラット」(注)を開発、販売開始
- 2005 愛東製作所を滋賀製作所に名称変更
- 2007 高意匠系外壁材「サイディングアートシャドー」を
開発、販売開始
新型アモルファス太陽電池一体型横葺屋根材
「アモルファス段ルーフ230」(注)を開発、販売開始
高意匠立馳工法屋根材
「スタンディングシームSX-40」を開発、販売開始
- 2009 施工の簡素化と品質向上を実現した
「サンコーユニットソーラー」を開発、販売開始
- 2010 太陽熱遮熱塗料「三晃クールガード」販売開始
- 2012 高意匠系屋根材「大和葺」を開発、販売開始
- 2014 住宅用型売「スピードロック」を開発、販売開始
水上金属工業(株)連結子会社化
- 2015 「吸音ダブルバック」販売開始
「丸馳折版ロック」販売開始
- 2016 深谷製作所プレス組立工場の新設
- 2017 水上金属工業(株)吸収合併
「SXラインウォール」を開発、販売開始
- 2018 「ハイタフEG」を販売開始
- 2019 「リボンウォール」を開発、販売開始
「丸馳折版ロックI型」を開発、販売開始

(注)2019年9月現在 廃止製品